



救命救急講習を受けました

船形学園では毎年消防隊の方々に来園いただき、職員全員が救命救急講習を受けています。実際にお手本を見せていただきながら、倒れている人を発見した際に必要な行動を教えていただきました。



もし倒れている人を発見した際は、まず周囲の安全を確保し、意識があるかどうかを確認します。意識がなく、呼吸をしていなければ AED (自動体外式除細動器) を使用する必要があります。ここで消防隊の方が、周囲の人に協力を求めることが大切と強くお話しされていました。一人では AED を使いながら通報を同時に行うのは困難です。そのため、一人で何とかしようとするのが迅速な対応に繋がるそうです。

また、周囲に協力を要請する際には「あなたは救急車を呼んでください」等具体的な指示を出すスムーズに協力が得られるそうです。



当園の正面玄関に AED が設置されています。緊急時、どなたでもご利用いただけます。



ボランティアさん募集!

あなたの趣味や特技を活かしてみませんか?

船形学園ではボランティアさんを募集しています。現在は新型コロナウイルスの感染拡大により休止していますが、感染状況が改善され次第、再開する予定です。

ボランティア活動に興味、関心がある方はぜひ当園のボランティア担当までご連絡ください。



船形学園の近況は
 ブログでも発信しています。
 (こちらの QR コードから)

編集後記

学園から見える海の色がだんだん秋色に変わってきました。まわりの景色に秋の気配を感じます。皆さまには日頃よりご支援ご協力賜り心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大により、今までは違った夏休みを過ごした子どもたちですが、この時にしかできない経験を遅く成長したようです。

マスクをはずした子どもたちの満面の笑顔を見られる日を願ひ、今はひとりひとりができることを心がけましょう。

第六十二号 編集長

この号に関するお問い合わせは、船形学園広報担当までお願いします。

学園だより 「さざなみ」第 62 号
 発行年月日 令和 4 年 10 月 15 日発行
 編集・発行 東京都船形学園
 千葉県館山市船形 1377
 電話 0470-27-2921
 ホームページ
jigyodan.org/funakata-gakuen/

ビワ狩りをしました

六月四日、幼児横割りの活動で、Aさんが好きなサンドイッチを作り外出をしました。

はじめに、車に乗ってビワ狩りに行きました。「ビワってどんなあじなの。たべたことない。」と、まだビワを見たことがありませんでした。実際に、ビワ狩りをしてたくさん食べました。

次に、原岡海岸に行きました。海風に当たって太陽の光を浴びてのご飯となりました。お腹が空いていたのか黙々と食べていました。帰りにおやつアイスを食べることを楽しみにしていました。

海岸では、桟橋に行つて色々な生き物や海藻を見つけるたび「みてみて。」と大興奮。

帰って来てからも、「すっぱかったけどおいしかった。」とビワを気に入った様子です。

担当

Aさんにインタビュー

Q ビワ狩りはどうだった?
 A ビワのきがたくさんあった。たくさんとれた。
 Q ビワの味はどうだった?
 A はじめてたべた。ちょっとすっぱかったけど、おもってたよりおいしかった。



五月五日 こどもの日

毎年、子どもたちと楽しいことを計画していましたが、今年は何をしようかな…。コロナ禍の今、何ができるのかな…。悩んだ末、昨年子どもたちから大好評だった「ゲーム大会」をすることに決めました。今年は「マリオカート8」でチーム対抗一騎打ちをしました。いつものTV画面とは違い、体育館の大きなスクリーンを使用しました。高い天井を生かして、風船や凧を飾ったり、薄暗い会場でもチームが分かりやすいように、サイリウムの腕輪を用意したり、会場の飾りつけにもこだわってみました。普段とは違うシチュエーションの中、実力は発揮できたかな？楽しむことはできたかな？対戦中は中高生の盛り上がりすごかったです。実況席からは子どもたちのマスクの下に、笑顔がはじけ飛んでいるのが見えました。午後はコロナ禍にちなんだ遊びを考え、外に出て体を動かしました。ソーシャルディスタンスの距離を取ることで、長いバトンを使った『ソーシャルディスタンスリレー』。感染対策に効果が高いと言われているグズズほど点数が高くなる『感染予防グズズ釣り』など、子どもたちが遊びながらコロナ対策を学ぶことができるように工夫してみました。

できることは限られていますが、今後も学園みんなが退屈しないような行事を考えていきます！来年のこどもの日は柏餅食べ放題とかやりたいですね。我慢や制限の多い毎日ですが、子どもたちの健やかな成長をこれからも願っています。



担当

幼児個別

夏のお泊り活動

今夏八月二十五日～二十六日に施設のグループホーム「かしの木」を使用したの幼児一名の幼児個別活動 夏のお泊り活動をしました。一日目は、鋸南町B&G海洋センターでプール遊びを楽しみ、夜は小学校低学年の児童を招待し、一緒に花火を楽しみました。小学生は幼児さんに優しく、お兄さんお姉さんの顔を見せてくれました。

二日目は、起床後に職員と共に外に出てかしの木のご近所の方にご挨拶。その後こどもの園に行き、恐竜の鳴き声や身体が動く大恐竜ランド、大きなカブトムシやクワガタがいるメガ昆虫ワールドなどを見ました。

また、屋外でジャンボボールを転がしながら走り回っていると、空の雲行きが怪しくなり一時間ほど豪雨となりましたが、その間は室内の遊具で汗をびしょりかきながら、元気いっぱい一日こどもの園を楽しんできました。帰りの車の中で疲れて眠ってしまうかと思いきや、車中では元気にうたを歌って、お喋りが止まらないAさんでした。

今年度の幼児横割活動は個別での関わりとなりましたが、のんびり過ごす時間と共に元気いっぱい身体を動かす楽しい時間を過ごすことができました。

担当



自主・出張調理

皆が楽しみにしていた自主・出張調理。自主・出張調理では、メニュー決め、買い物部屋職員の協力、調理場職員と一緒に調理します。今回は、フライドチキンとクレープを作りました。

買い物では、子どもたちとどのくらい食べられるか考えながら、クレープでは「豪華にしたいよね！」と話しながら、買い物を楽しみました。調理場職員と一緒に作ったフライドチキンは皆、美味しいと言いつつ、完食！デザートはクレープでは、それぞれ個性あふれるものばかりでした。

子どもたちは、このような機会を通し、様々な調理方法や、料理の楽しさを知り、沢山の経験を積んでいきます。

これからもたくさん調理経験を経て、得意料理を一つでも身に付けてもらえたらと思います。



室担当

ドッジボール

三年ぶりの江戸っ子杯開催に向けて、七月の暑い練習を始めた。初めは、パス回しが上手くいきませんでした。又、当てられて不貞腐れてしまう子もいました。しかし、キャプテン、副キャプテンが中心となって、声掛けをし、少しずつチームワークができてきました。

江戸っ子杯まであと少し！の所で、コロナウィルスの感染拡大により、大会が中止。六年生は残念ながら出場できませんでしたが、来年は新チームで優勝目指して頑張りたいですね！

ドッジボール監督

がんばったドッジボール

今年三年ぶりに行われる予定だった江戸っ子杯に向けて、練習をいっしょけんめい頑張りました。ボールに当たってもくじけず、何回も練習し続けました。たまに泣く子もいましたが、頑張った練習の結果、うまくよけて当たる子も少なくなりました。



しかし、コロナの影響でまた今年も江戸っ子杯が中止になってしまいました。でも今も時々練習した成果を出してドッジボールをしています。

何かができなくなっても諦めず、他のことで発揮すればいいと思います。ドッジボールの練習を頑張つてよかったです。

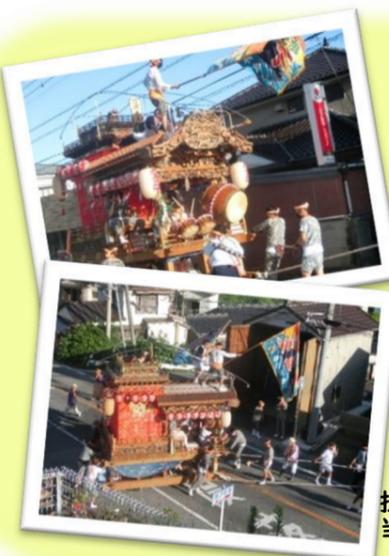
キャプテン

二年越しの地区祭り

新型コロナウイルスで様々な行事が中止になってきた昨今、祭りも例外ではなく地域の方々にとっても、我々にとっても我慢の期間でした。まだ予断は許されない状態ではありましたが、ガイドラインの設定や、行程の縮小など地域の方々が何度も話し合いを重ねて、成功させようという思いが伝わりました。

そして当日、消毒や飲食への配慮など想定していたことを、きちんと守る地区の皆さんはとても誇りに思いました。私はという久しぶりの交通係…観光客も多いのでご理解いただけるか緊張しましたが、皆さんお優しいです。

今回は大事を取って児童は参加せず、沿道から手を振ってくれていました。次の機会では『山車って何？』という児童たちに、貴重な体験をさせたいなと思いました。



担当